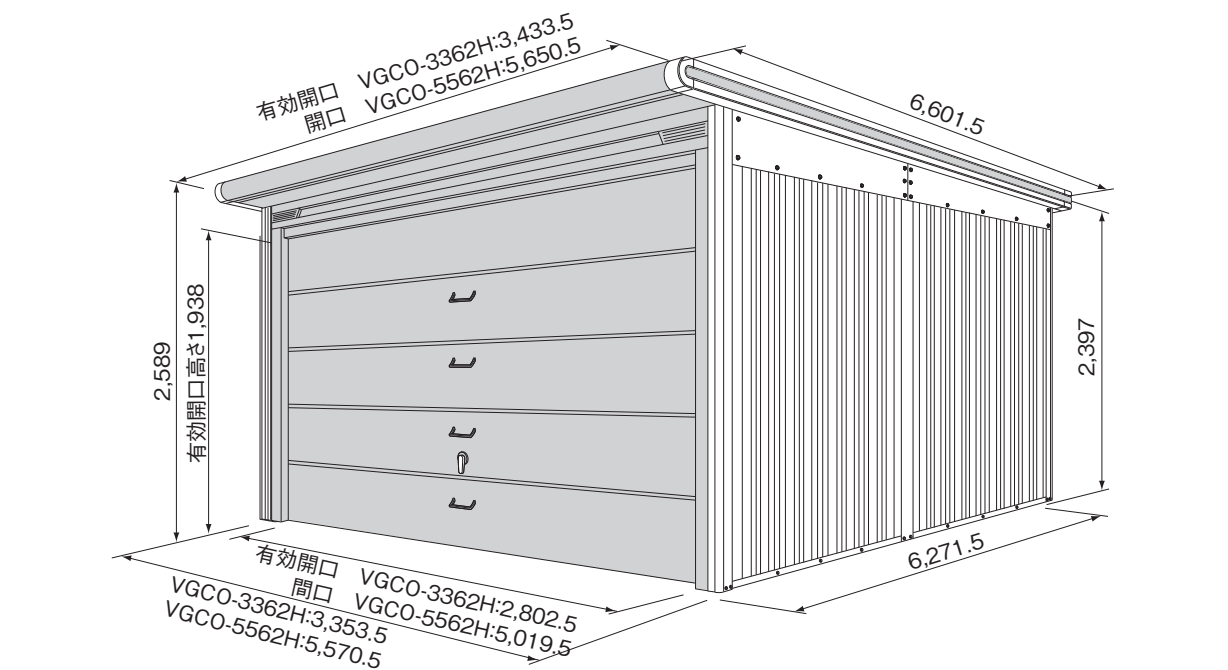


ヨドガレージラヴィージュⅢ

(オーバースライディングタイプ) 組立説明書

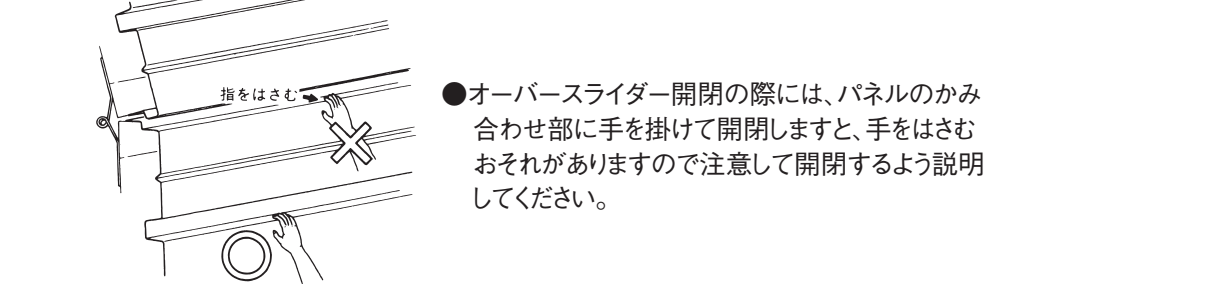
VGCO-3362H VGCO-5562H VGCO-8862H (3362H+5562H)

この組立説明書は、ガレージを安全に組立てていただくために、重要な事項を記載しています。
施工前に必ずお読みください。
また、部品箱の中の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
本書は、8862Hタイプで向かって左側を一台用(3362H)、右側を2台用(5562H)連続させる形で記載しておりますが、単棟タイプ、3連棟以上も手順は同様です。



- 〈組立にあたって〉
- 基礎の水平が出ていないと建付けが悪くなりますので、必ず水平を確かめてください。
 - 部品の共通化のために、実際には使用しない穴があいている部品がありますので、説明書に従って組立してください。
 - 開口部オーバースライダーは別途工事ですので、梱包は開梱せずに、雨のかからない場所に保管しておいてください。
 - オプションのリモコン式の場合、桁中の中央から後に600m/mの位置までアース孔付2口コンセント(100V)を配線しておいてください。

一次電源の配線(屋外からガレージ内への配線)は、電気工事免許が必要となりますので必ず最寄りの電気工事中へ依頼してください。



- 設置場所の制限
- 注意**

●大屋根からの雨水や、雪が直接ヨドガレージの屋根に落ちる場所には設置しないでください。
- 注意**

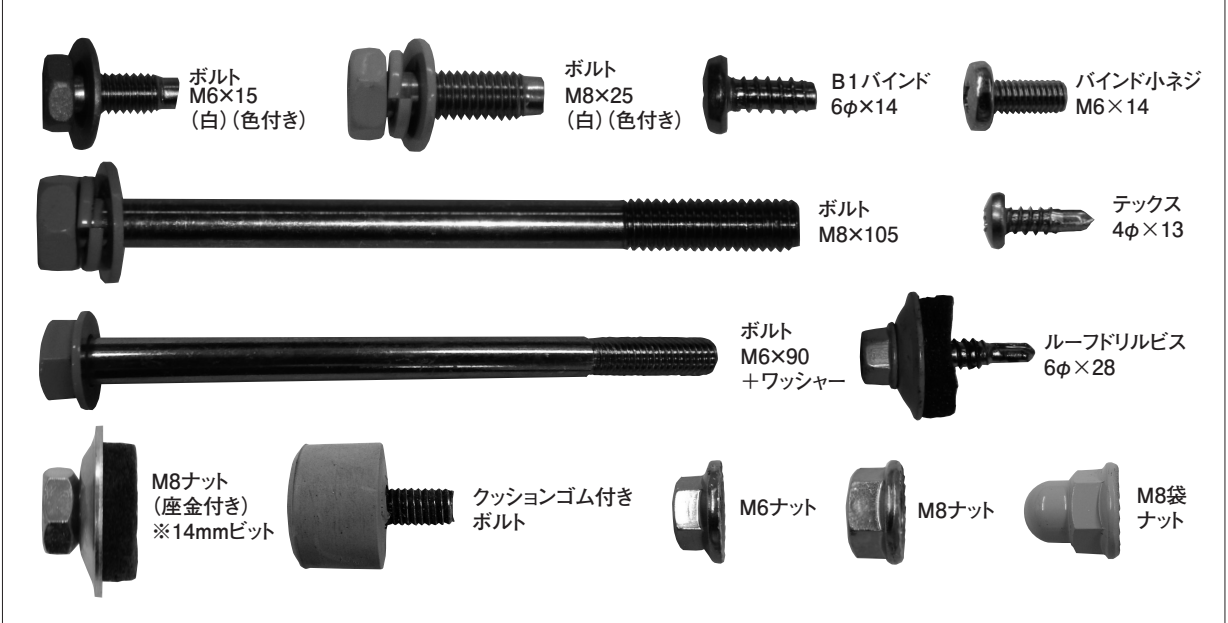
●崖のふち、風当りの強い場所等安全の確認できない場所には設置しないでください。
- 注意**

●給湯器の前には設置しないでください。

- 施工全般
- 注意** 施工の際には、次の点を必ず守ってください。
- ブロックでの基礎は絶対におやめください。強度確保のため、鉄筋入りの布基礎としてください。
 - 施工前に必ず布基礎の水平を確認してください。水平がでていないと、ガレージの建付けが悪くなります。
 - 強風時や雨天時の組立てはおやめください。
 - 高所での組立てとなりますので、足場板、安全帯などを使用して、作業時の安全には、十分注意してください。
 - 重量物・長尺物は運搬・据付の際に複数人数で行い、振り回したり、落としたりしないよう、注意してください。
 - 安全のため、手袋をして組立てを行ってください。
 - ボルトは口に入れないでください。

- 屋根の施工
- 注意**
- 屋根に上がる場合は、転倒、転落等に十分注意してください。
 - 屋根の重ね部を締結するまで、重ね部には絶対に乗らないでください。

- 組立てに必要な特殊工具 ・幅幅14mmビット(屋根固定用)・幅幅21mmビット(アンカーボルト固定用)・3番手プラスビット(フレーム固定用)・ベンチ(シャッターカシメ用)
- 使用ビス一覧

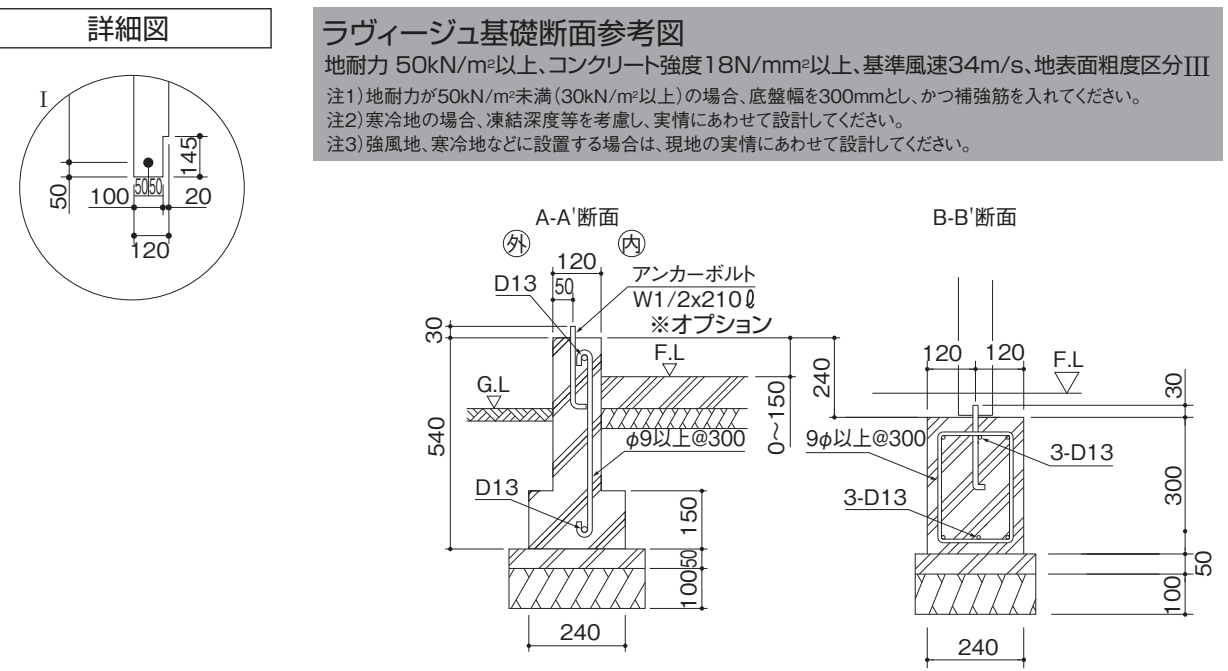
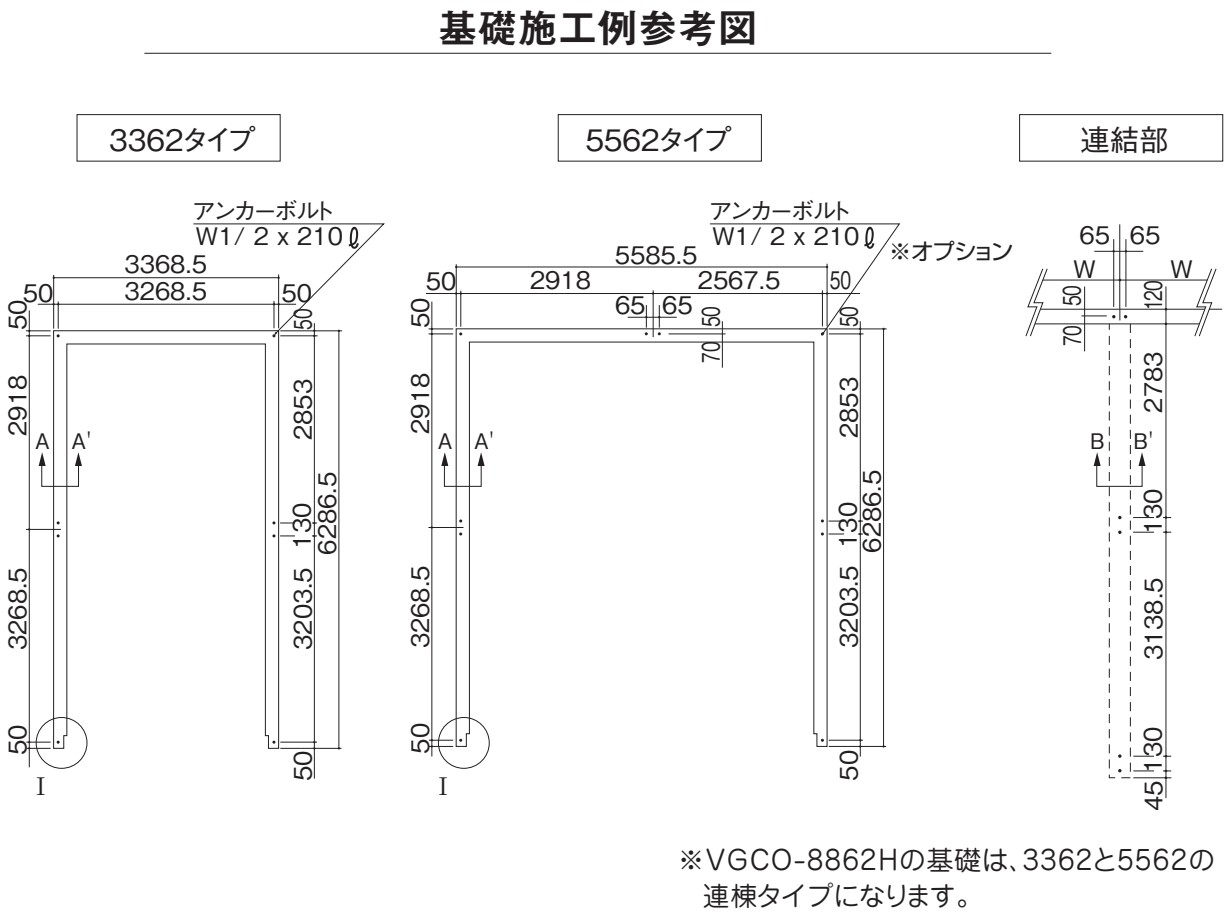


梱包組合せ表				
基本棟				
梱包名	梱包番号	3362H	5562H	
部品	VG4-0104	1	1	
	VG4-0105		1	
	VG4-0202	1	1	
	VG4-0222	1	1	
	VG4-0233		1	
柱	VG4-0281	1	1	
	VG4-0312	1	1	
袖柱	VG4-0342	1	1	
	VG4-0332		2	
間柱	VG4-0404	1	1	
	VG4-0408	1	1	
上枠	VG4-5434		1	
	VG4-0534	1		
梁	VG4-0535		1	
	VG4-0536		1	
前後材	VG4-0604	1	1	
	VG4-0614	1	1	
桁前	VG4-0744	1	1	
	VG4-0745		1	
桁前補強	VG4-0754	1	1	
	VG4-0755		1	
桁前カバー	VG4-0764	1	1	
	VG4-0765		1	
桁中	VG4-0774	1	1	
	VG4-0775		1	
桁中補強	VG3-0784	1	1	
	VG3-0785		1	
桁後	VG4-5712		1	
	VG4-5713		1	
ブレース	VG1-0814		1	
	VG1-0824		1	
壁	LM5-1014	4	4	
	LM5-1031	1	1	
屋根	LM5-1032	1	1	
	VG4-1003	6	10	
引き戸	VG4-1012	6	10	
	LM5-1771	1	1	
	LM5-1772	1	1	

追加棟

梱包名	梱包番号	3362H	5562H	
部品	VG4-0106	1		
	VG4-0107		1	
	VG4-0233		1	
	VG4-0252 +200	1	1	
	VG4-0281	1	1	
柱	VG4-0342	1	1	
	VG4-0332		2	
袖柱	VG4-0414	1	1	
	VG4-5434		1	
梁	VG4-0536		1	
	VG4-0544	1		
前後材	VG4-0545		1	
	VG4-0744	1		
桁前	VG4-0745		1	
	VG4-0754	1		
桁前補強	VG4-0755		1	
	VG4-0764	1		
桁前カバー	VG4-0765		1	
	VG4-0774	1		
桁中	VG4-0775		1	
	VG3-0784	1		
桁中補強	VG3-0785		1	
	VG4-5712		1	
桁後	VG4-5713		1	
	VG4-5714	1		
ブレース	VG1-0814		1	
	VG1-0824		1	
壁	LM5-1013		1	
	LM5-1014	1	1	
屋根	LM5-1031	1	1	
	LM5-1032		1	
	VG4-1003	6	10	
	VG4-1012	6	10	

※VGCO-8862Hは、5562Hと3362Hを連続した組み合わせになります。



1 水切りの設置

注)オプション「目隠し」を取り付ける場合は「目隠し」の組立説明書を参考に水切りを設置してください。

① 水切り を基礎に設置します。
(水切り後)にはシールが貼ってありますので必要な孔部を切ってください。

② 水切り の重ね部、アンカーボルト周辺にコーキングを施します。

注意 コーキングが不十分だと雨水等が庫内に浸入しますのでしっかりと塗布してください。

後柱左右に後面ブレース(16φ)を取り付ける場合は、アンカーボルトが増えるため水切り側の後部に孔加工を行ってください(下図参照)

水切り側・左 水切り側・右 水切り後 水切りカバー(C) 水切り側・左 水切り側・右 水切り側・左 水切り側・右

① コーキング塗布 ② コーキング塗布 ③ コーキング塗布 ④ コーキング塗布

⑤ コーキング塗布 ⑥ コーキング塗布 ⑦ コーキング塗布

※後柱左右に後面ブレース(16φ)が付く場合(ブレースが付かない側は加工不要ですので注意してください)

アンカーボルト部分のコーキングは孔が完全にふさがるように塗布してください。

孔がふさがっていない。

2 アンカープレートの取付け

使用ボルト ① ワールバッキン、ワッシャーナット(アンカーボルト用)

① (アンカープレート)をアンカーボルトに仮止めします。
※本締めは下枠設置後に行います。

②オプション間仕切りを取り付ける場合は (前柱中カバー)を (アンカープレート(R))に設置して固定しアンカーボルトキャップを被せます。

アンカープレート(B) ※左右共通 アンカープレート(C) アンカープレート(A)左 アンカープレート(C) アンカープレート(R) アンカープレート(C) ※左右共通 アンカープレート(A)右

① ナット×2 ワッシャー ナット ② アンカープレート(A)右 ③ アンカープレート(C)

④ アンカープレート(B) ⑤ アンカープレート(C)

3 下枠の取付け

使用ボルト ① ボルトM8×25(白)

① (下枠)を下の配置図に従って配置しアンカープレートに固定します。
下枠上部のボルトは仮止めします。

②アンカーボルトを本締めします。

下枠(左) 下枠(右) 下枠(左) 下枠(右) 下枠(左) 下枠(右)

ボルトM8X25(白) ※仮止め

ここは固定しません。

注意 下枠33、下枠26には左右がありますので配置図を見て正しく設置してください。

下枠断面図

下枠配置図

VGCO-5562H VGCO-3362H

下枠30 下枠26(左) 下枠30 下枠33(左) 下枠30 下枠33(右) 下枠30 下枠33(右)

4 下枠カバーの取付け

使用ボルト なし

① (下枠カバー)を下枠に取り付けます。

②仮止めしたボルトを締め付けて固定します。

下枠カバー(A)右 下枠カバー(B)左 下枠カバー(B)右 下枠カバー(A)左 下枠カバー(A)右 下枠カバー(A)左 下枠カバー(B)左 下枠カバー(A)右 下枠カバー(A)左 下枠カバー(A)右 下枠カバー(A)左 下枠カバー(B)左 下枠カバー(A)右 下枠カバー(A)左 下枠カバー(B)右

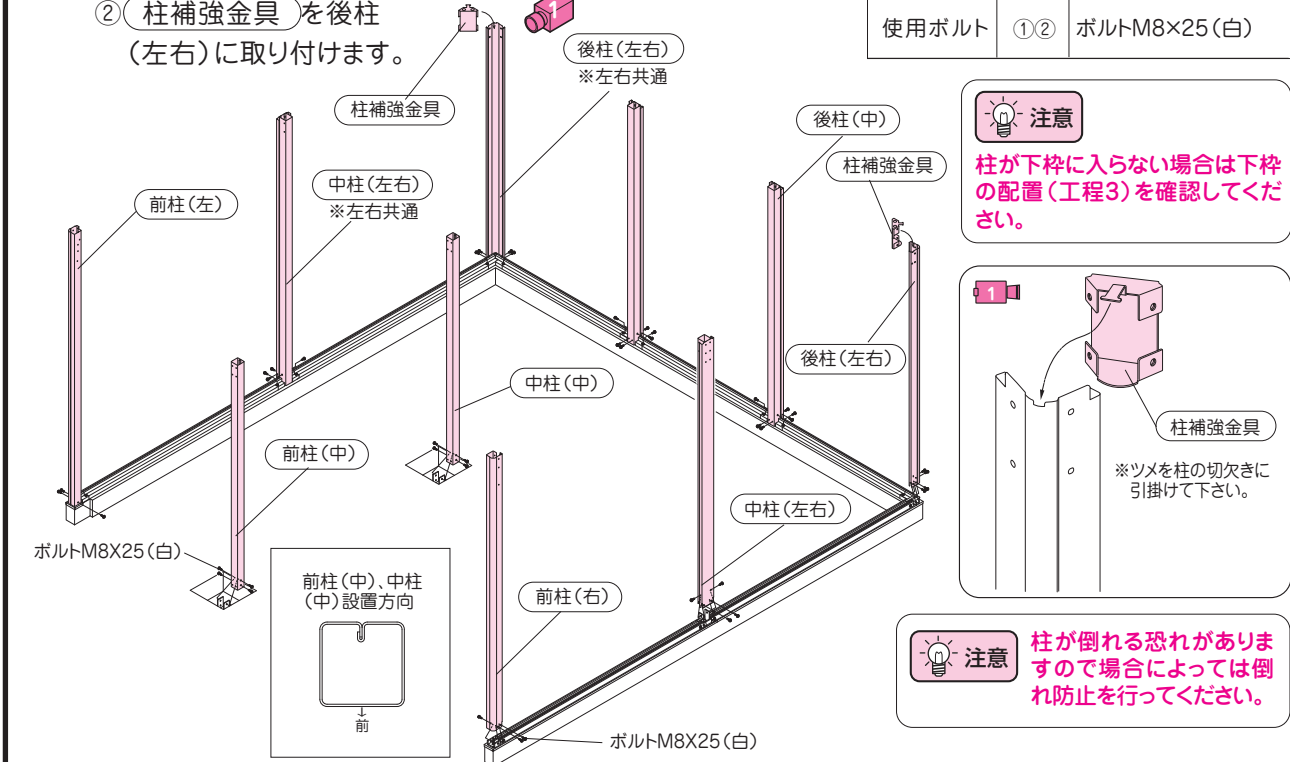
5 中柱の孔加工

①ドリルで中柱(左右)に10φの孔加工します。(連続の場合、中柱(中)も同様に孔加工してください。
※シャッタータイプと連続する場合、シャッタータイプ側の孔加工は不要ですのでご注意ください。

10φ孔加工 17.5 10φ孔加工 70 中柱(左右) 中柱(中) ※連続する場合

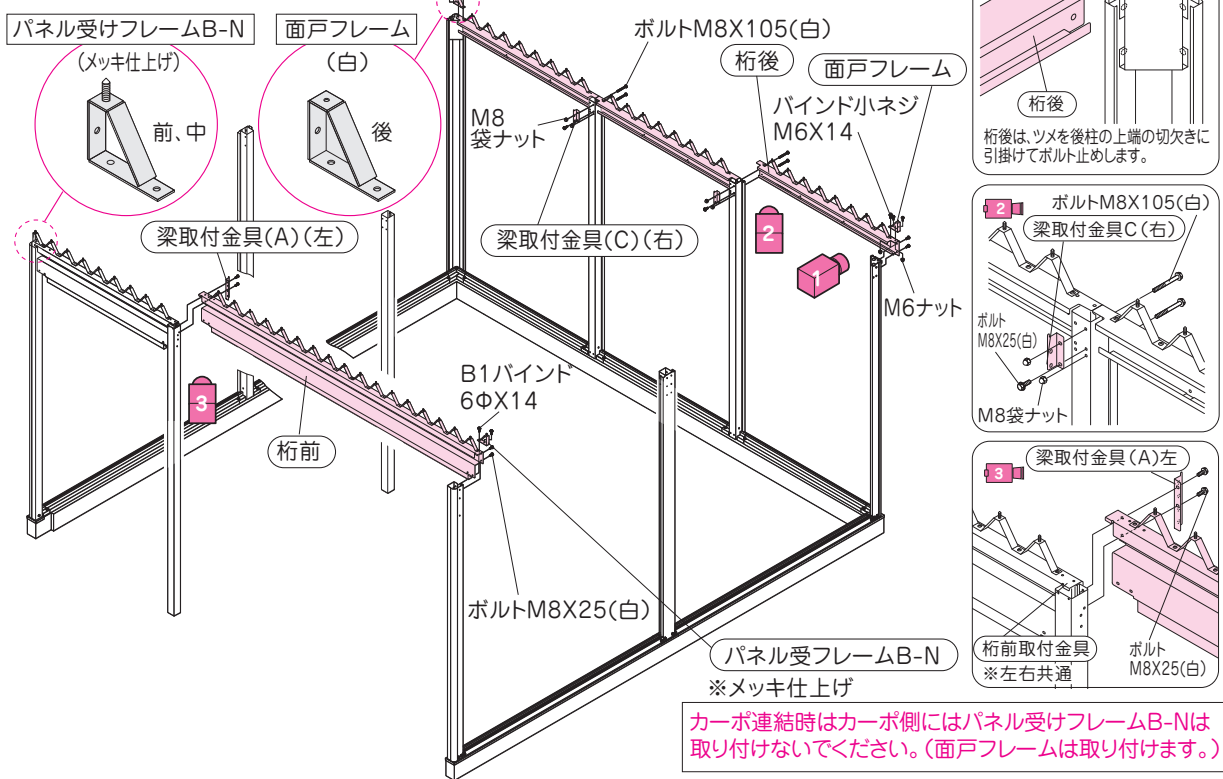
5 柱の取付け

- ①(柱)をアンカープレートに取り付けます。
- ②柱補強金具を後柱(左右)に取り付けます。



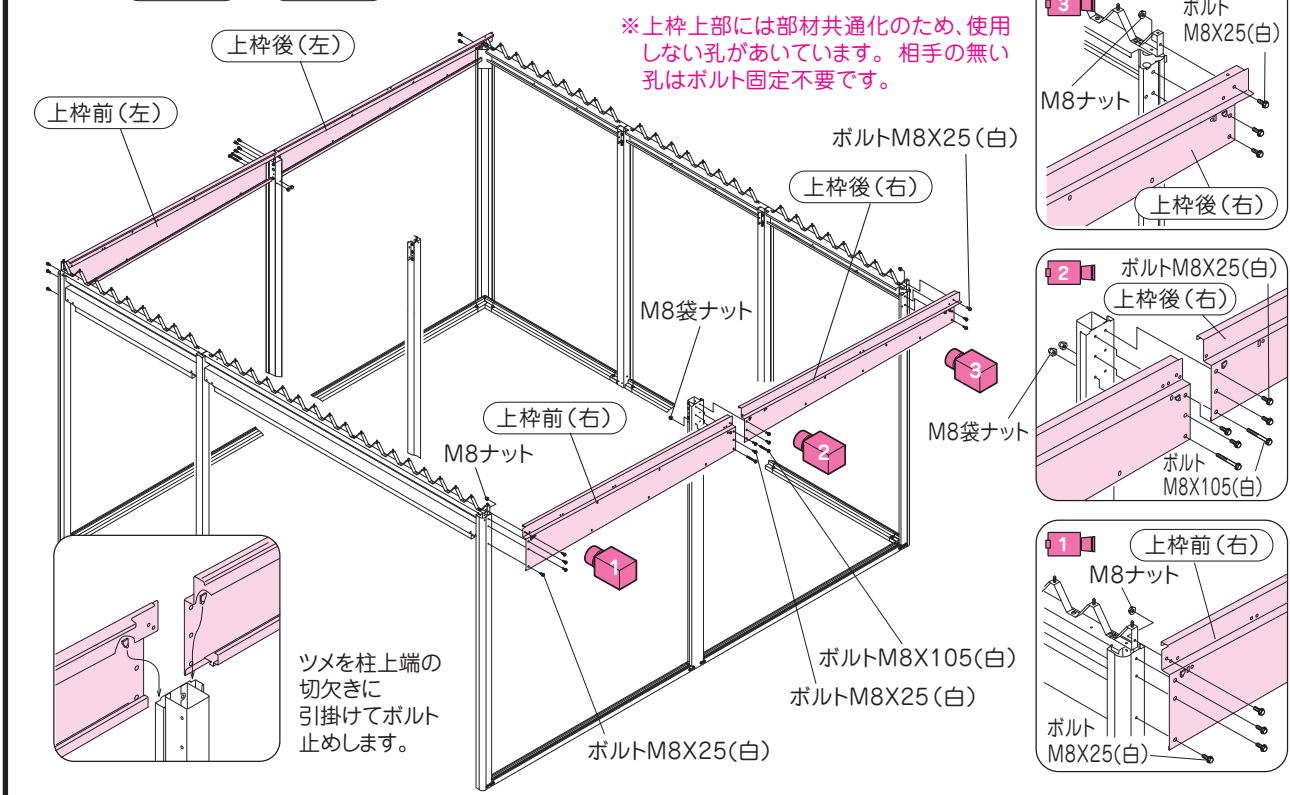
6 桁の取付け

- ①パネル受けフレームB-Nを桁前の両端に取り付けます。
- ②(桁前)・(桁後)を柱に取り付けます。
- ③連棟の場合、(梁取付金具(A)(C))を前柱中、後柱中に桁と同時に取り付けます。



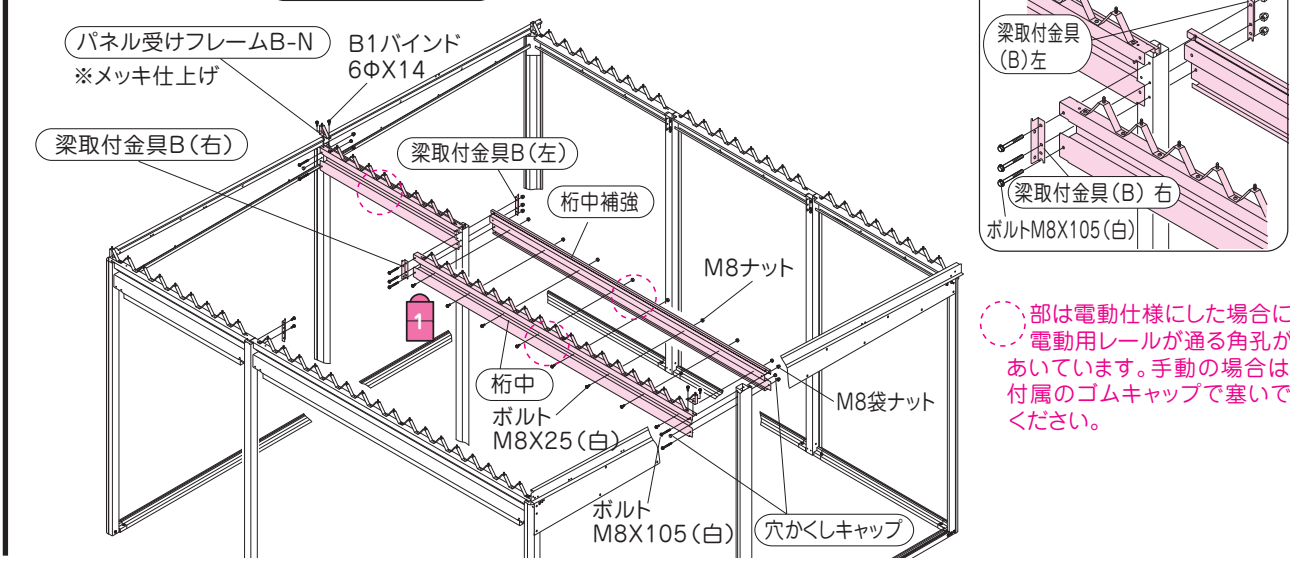
7 上枠の取付け

- ①(上枠前)と(上枠後)を柱に取り付けます。



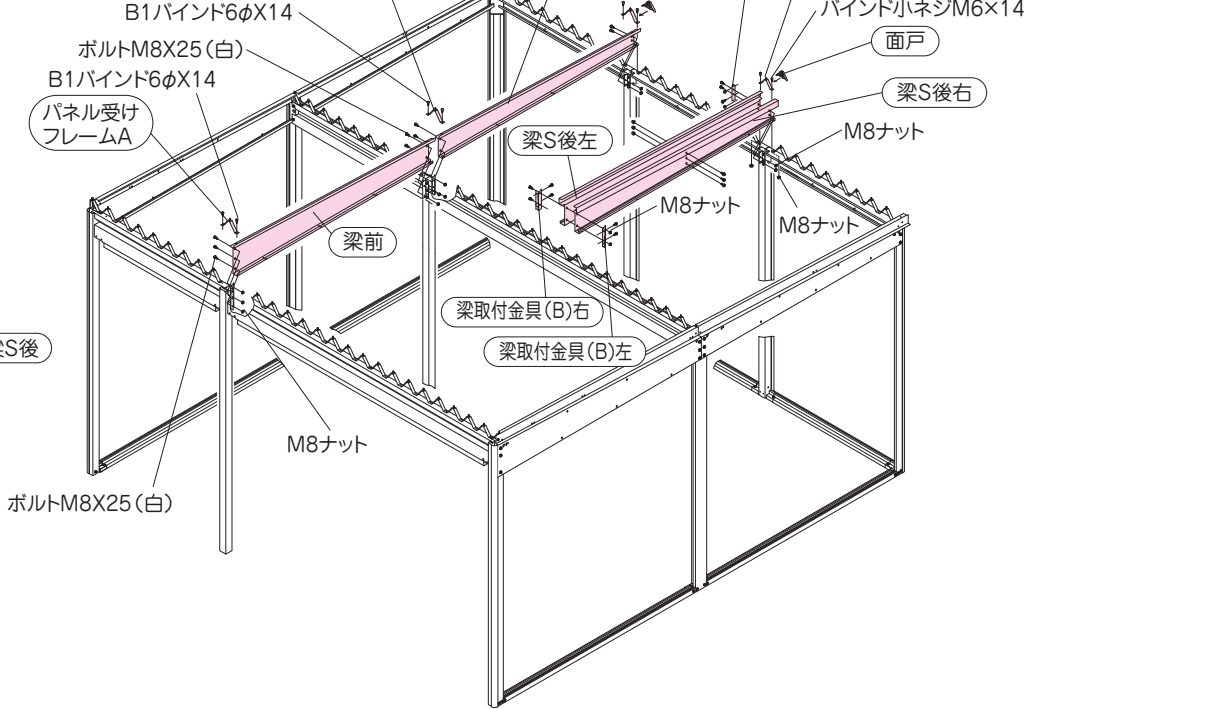
8 桁中の取り付け

- ①パネル受けフレームB-Nを桁中の両端に取り付けます。
- ②(桁中)・(桁中補強)を柱に取り付けます。
- ③連棟の場合、(梁取付金具(B))を同時に取り付けます。



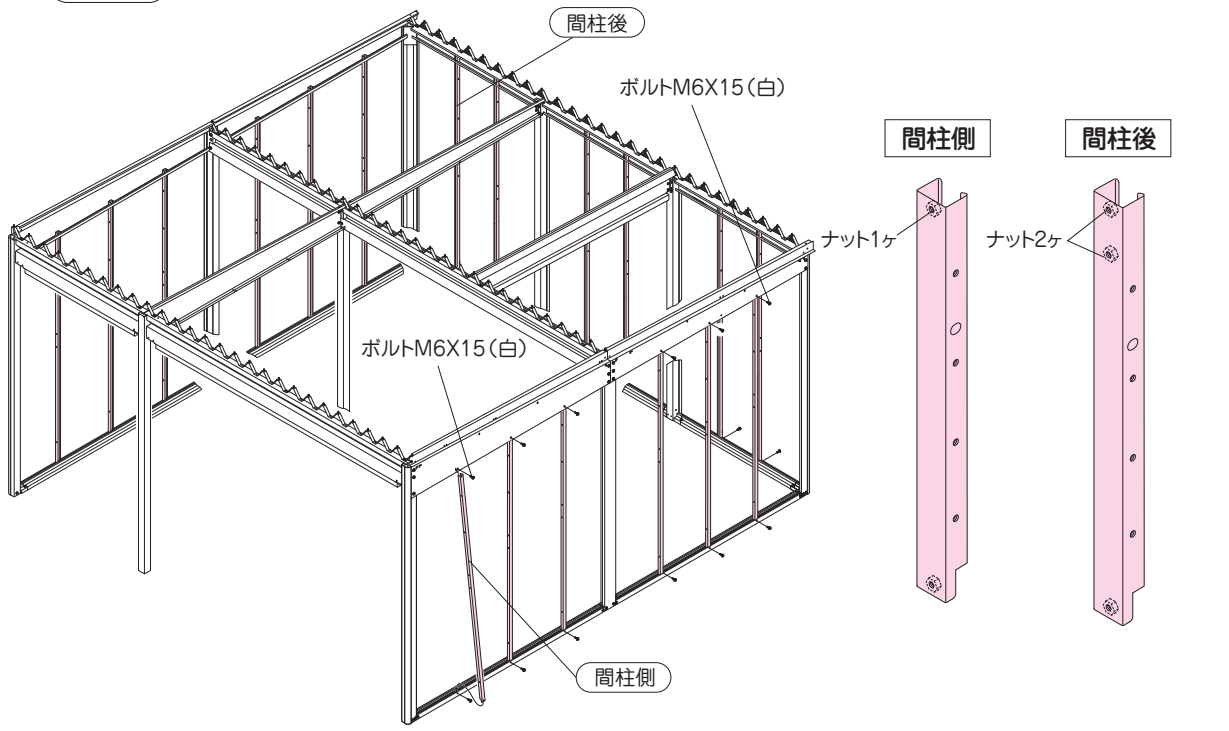
9 梁の取付け

- ①5562Hタイプは(梁S後)を取り付けます。
- ②※連棟する場合、連結部は(梁前・梁後)を取付けます。
- ③(パネル受けフレームA)・(面戸)を桁前・桁中・桁後の連結部分に取り付けます。



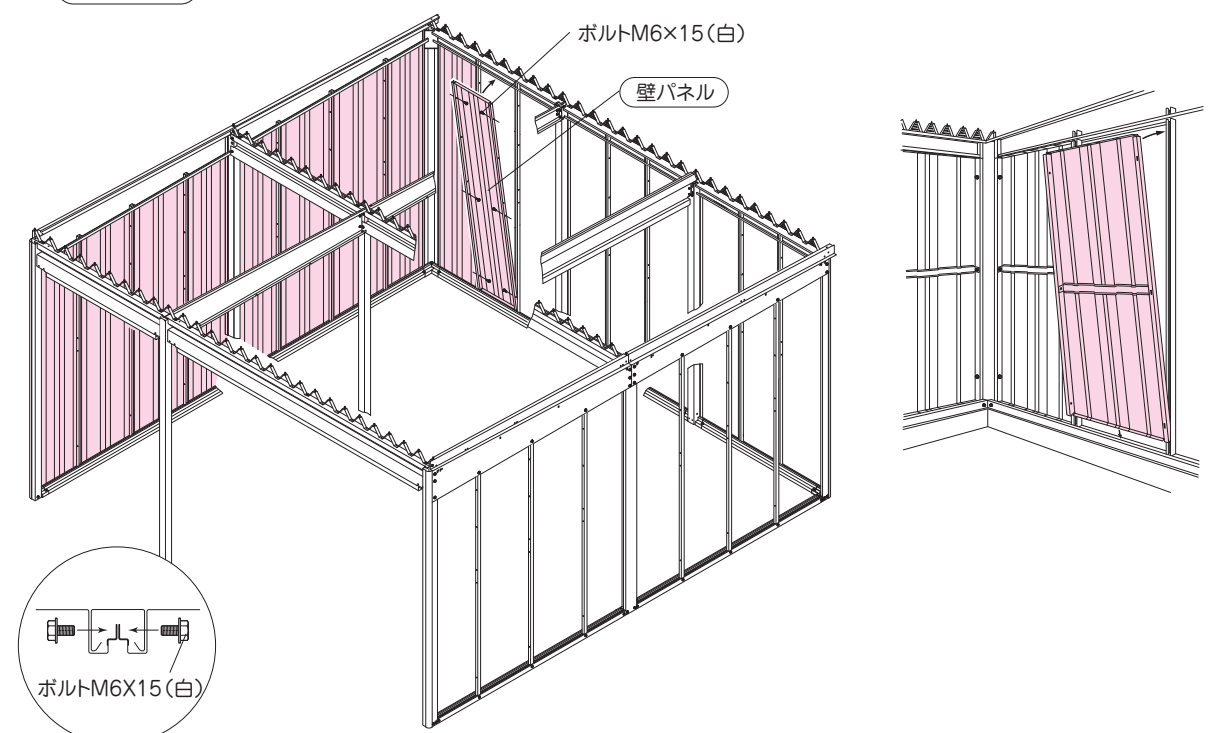
10 間柱の取付け

- ①(間柱側)を側面の下枠、上枠左右に取り付けます。
- ②(間柱後)を後面の下枠、桁後に取り付けます。



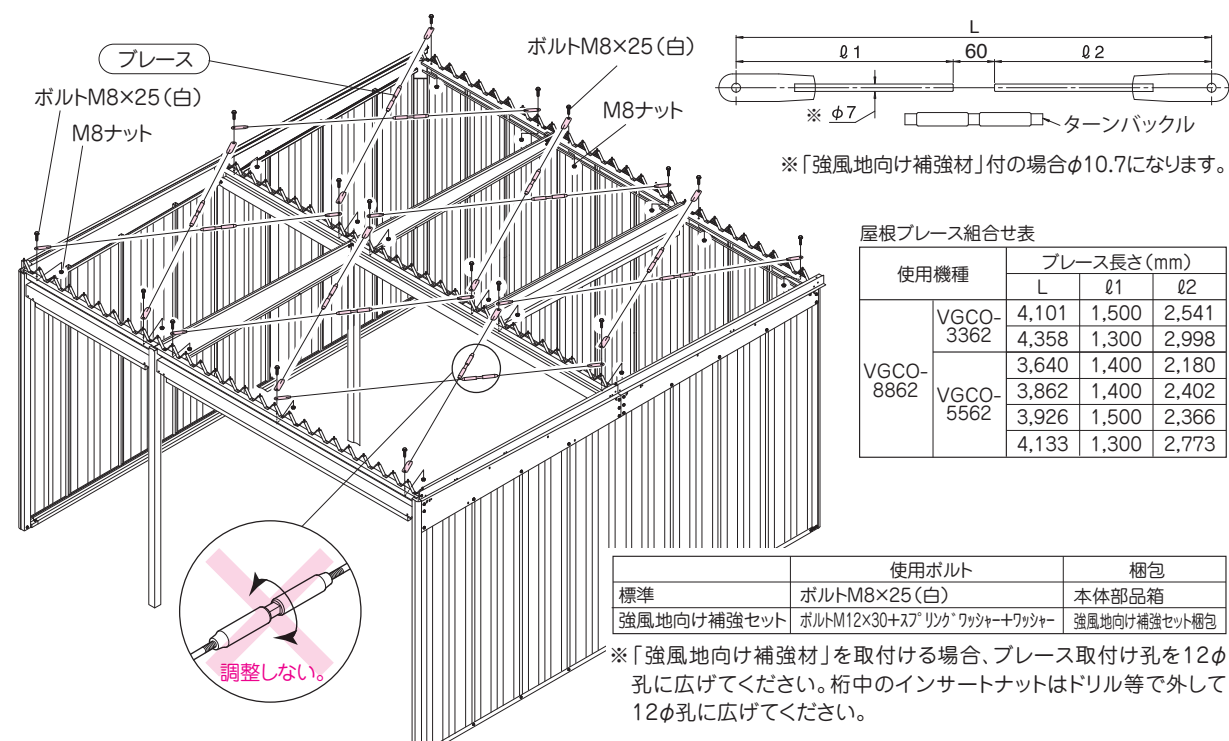
11 壁パネルの取付け

- ①(壁パネル)を室内からはめ込み柱、間柱に取り付けます。



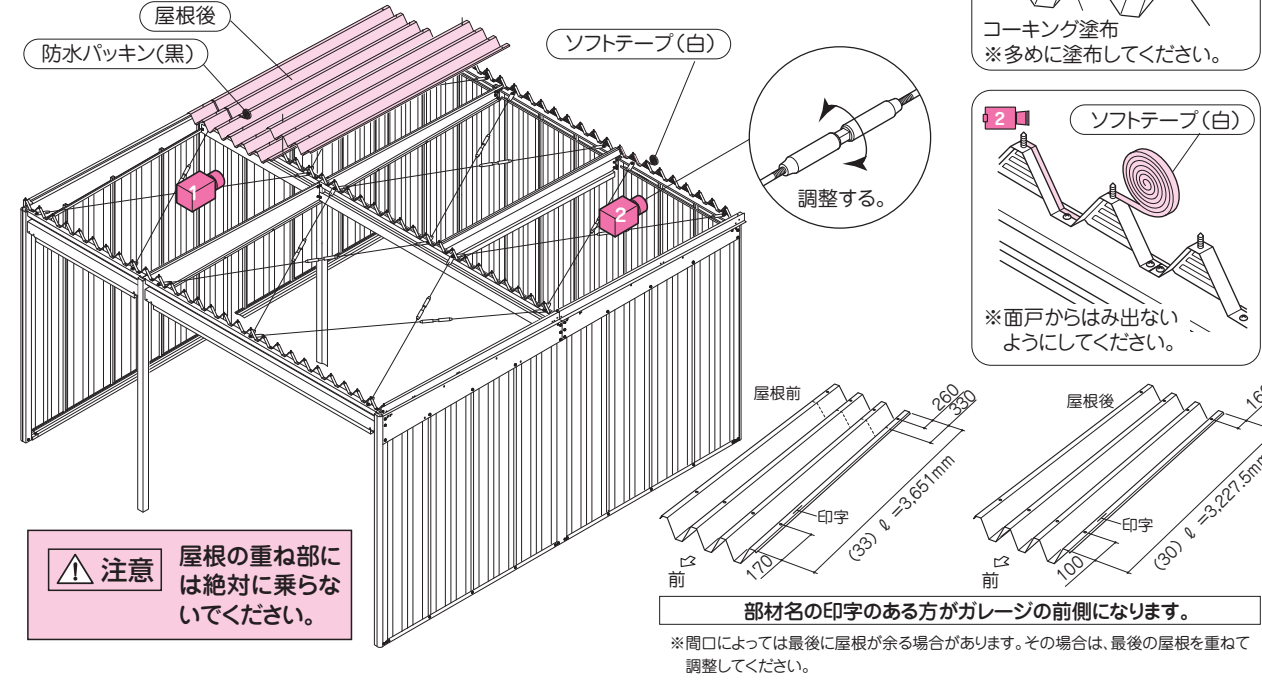
12 ブレースの取付け

- ①(ブレース)を桁に取り付けます。
- ※調整は屋根を載せた後に行います。(先に調整すると屋根が入らなくなる可能性があります。)



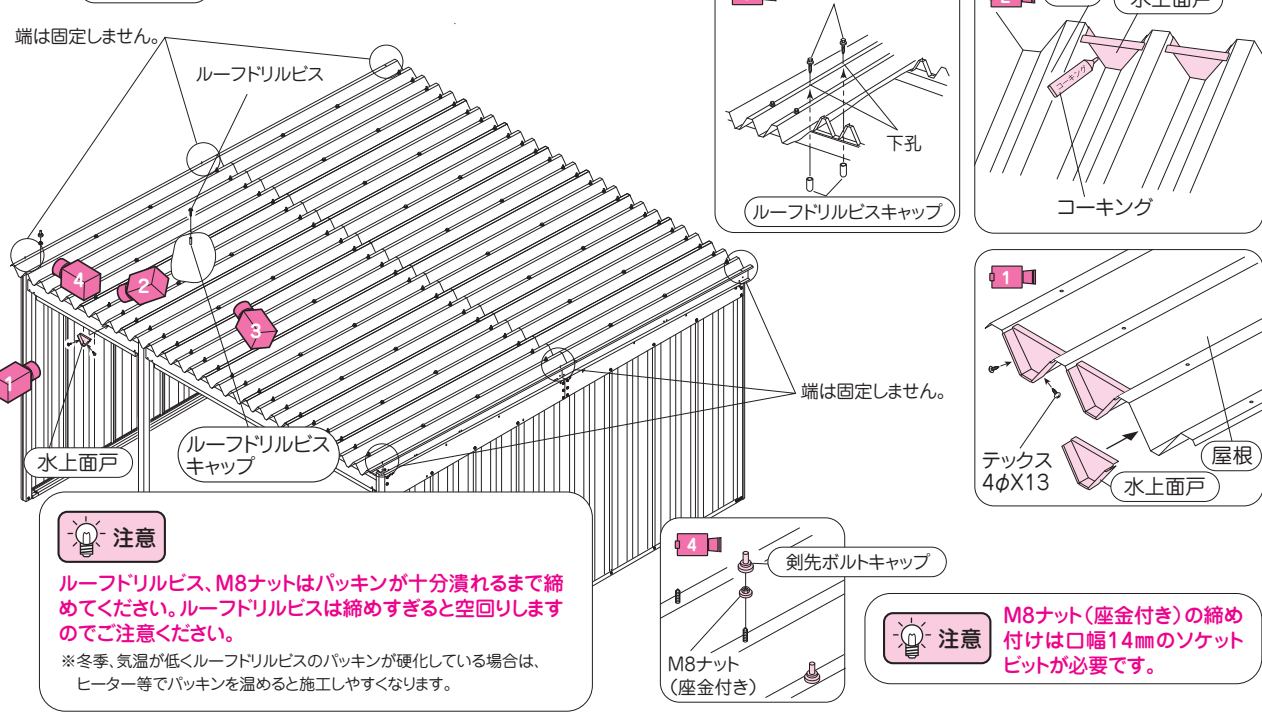
13 屋根の設置、建付け調整

- ①(ソフトテープ(白))を桁後のタイトフレームに沿って貼り付けます。
- ②(屋根後)を向かって左から載せていきます。
- ③(防水パッキン(黒))を屋根後の前側に貼り付けコーキングを施します。
- ④(屋根前)を向かって左から載せていきます。
- ⑤ブレースのターンバックルを回して本体の建付け調整を行います。



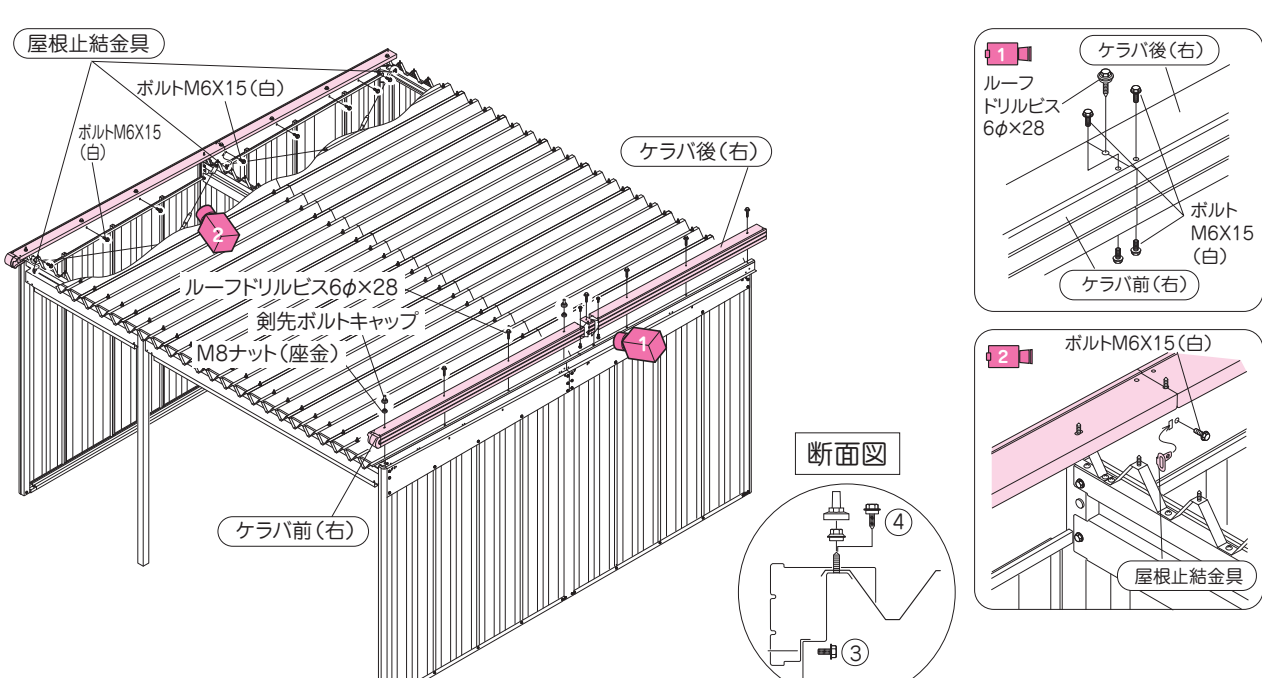
14 屋根の固定

- ①(屋根)の両端部を残し屋根をタイトフレームに固定し、(鉛先ボルトキャップ)を嵌めます。
- ②(屋根)の流れ方向の重ね部を固定し(ルーフトドリルビスキャップ)を屋根裏からかぶせます。
- ③(水上面戸)を取付けコーキングを施します。



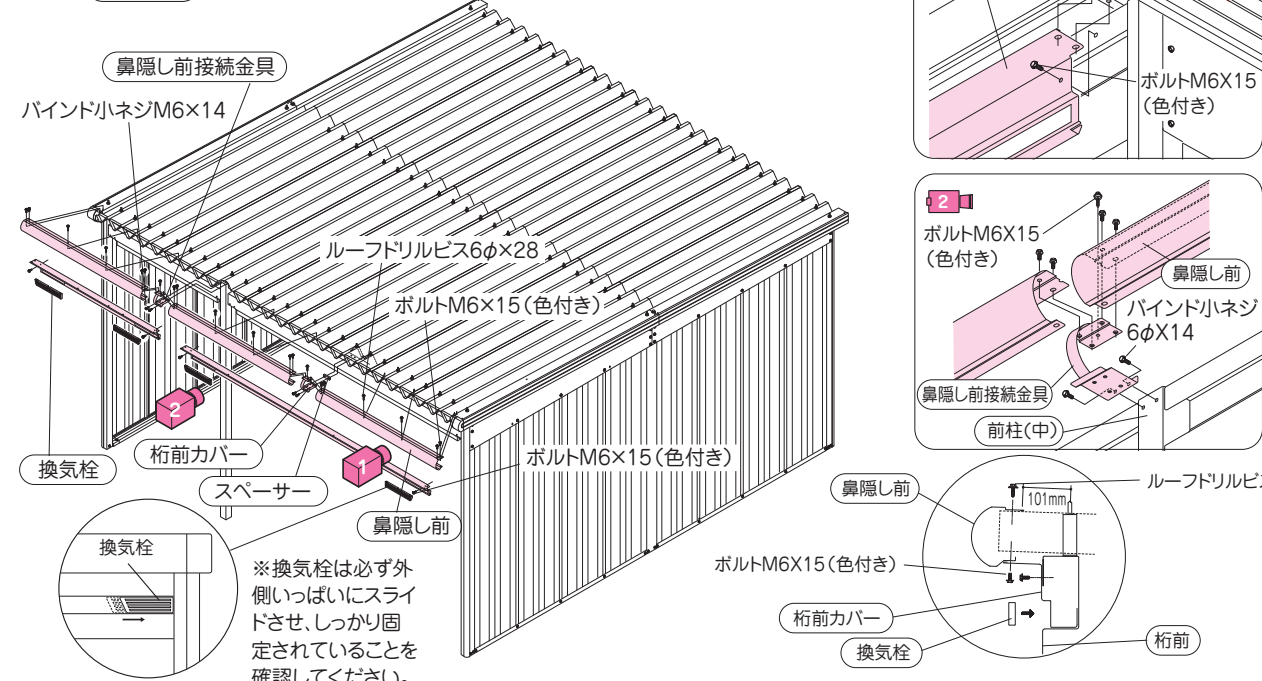
15 ケラバの取付け

- ①(ケラバ接続金具)をケラバ前に取り付けます。
- ②(ケラバ前)・(ケラバ後)を上枠に取り付けます。
- ③庫内から(ケラバ)を固定します。(3ヶ所は(屋根止結金具)を用いてボルト固定します。)
- ④ケラバ上面を屋根に固定します。



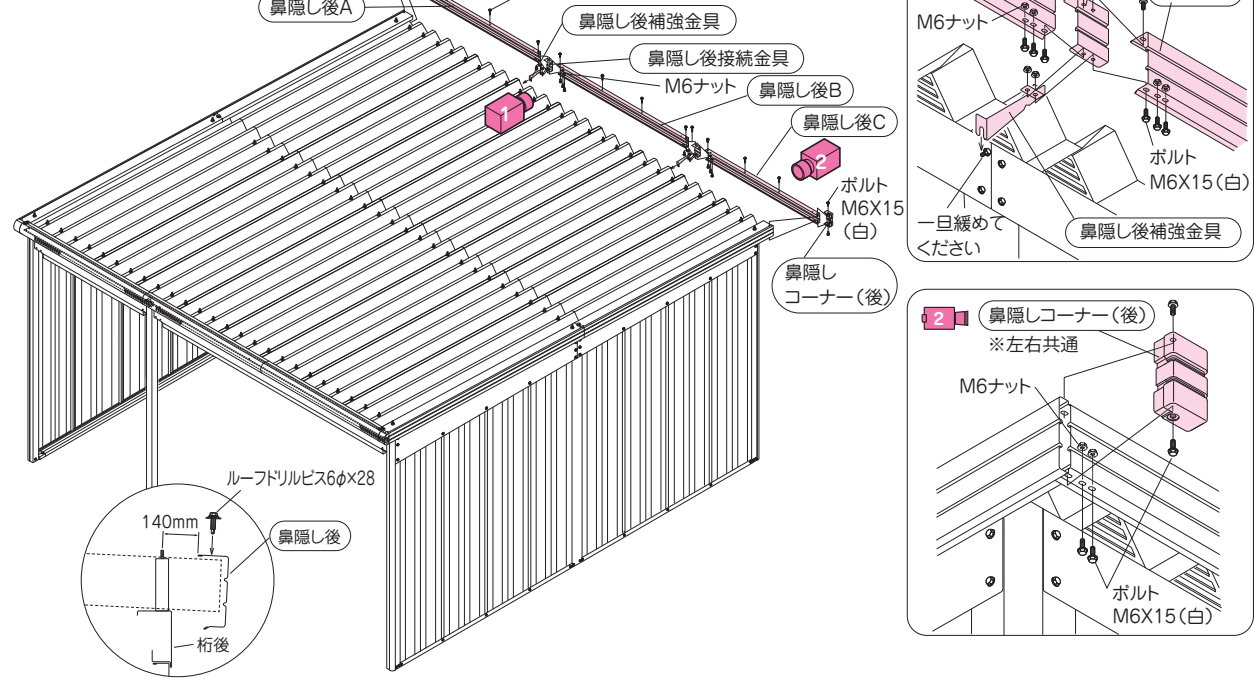
16 鼻隠し前の取付け

- ①※連棟の場合、(鼻隠し前接続金具)を前柱中に取り付けます。
- ②5562Hタイプは桁前中央に鼻隠し前接続金具と(スベーク)を取り付けます。
- ③(鼻隠し前)を屋根、ケラバコーナー樹脂に取り付けます。
- ④(桁前カバー)を桁前、鼻隠し前に取り付けます。
- ⑤(換気栓)を桁前カバーに取り付けます。



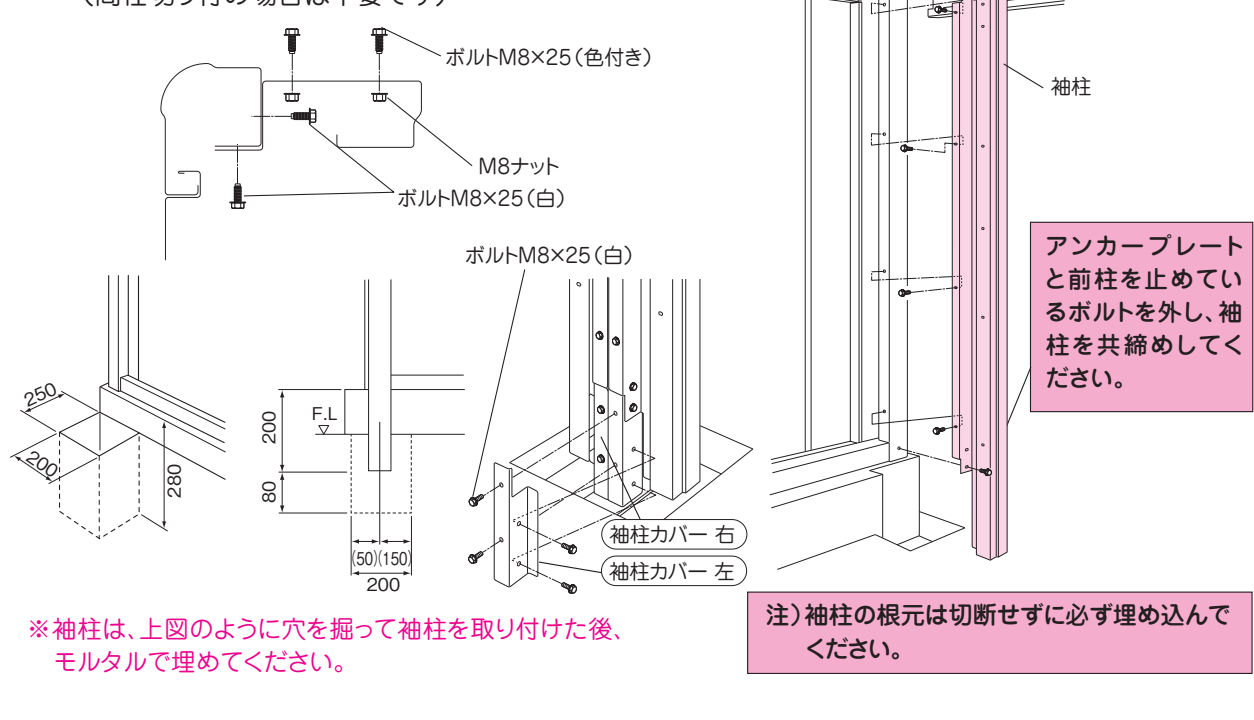
17 鼻隠し後の取付け

- ①※連棟の場合、(鼻隠し後補強金具)を桁後に取り付けます。
- ②(鼻隠し後)を屋根に取り付けます。
- ③(鼻隠しコーナー樹脂(後))を鼻隠し後、ケラバに取り付けます。
- ④※連棟の場合、連結部は鼻隠し後接続金具、鼻隠し後補強に



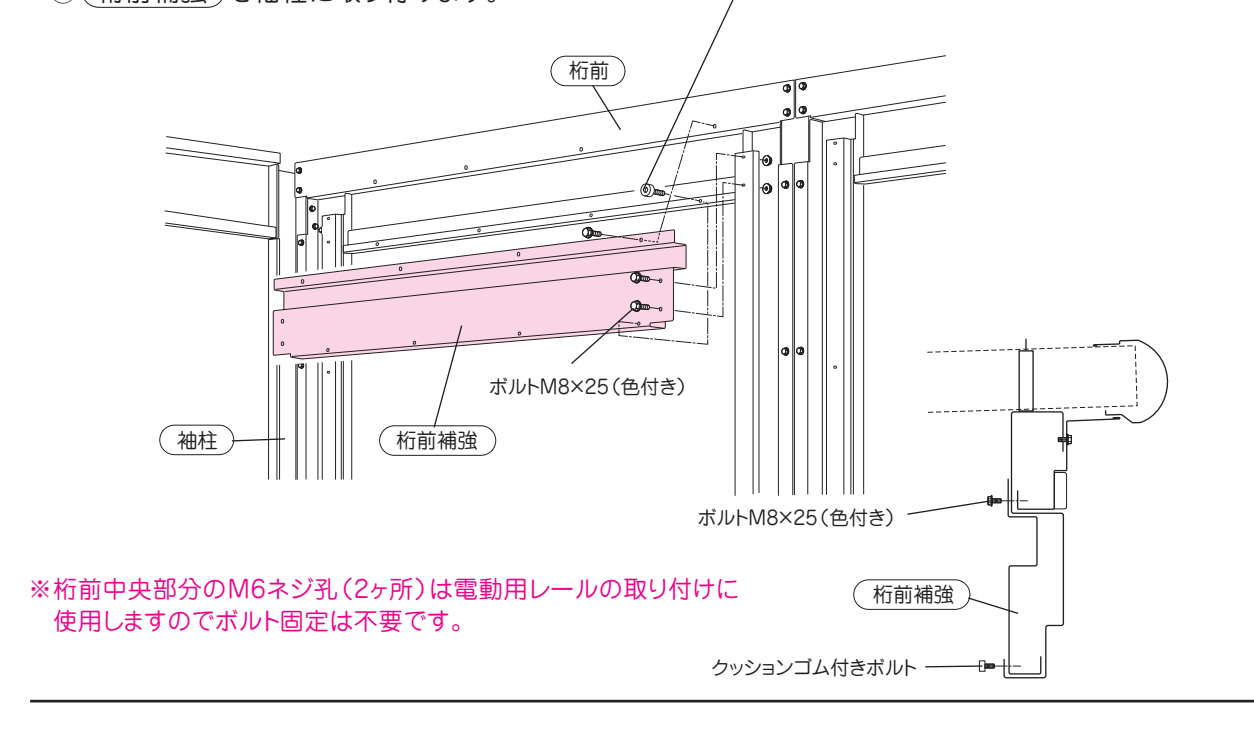
18 袖柱の取り付け

- ①(袖柱)を前柱に取り付けます。
- ②(袖柱)を桁前に取り付けます。
- ③連結部の下部には(袖柱カバー)を取り付けます。(間仕切り材の場合は不要です)



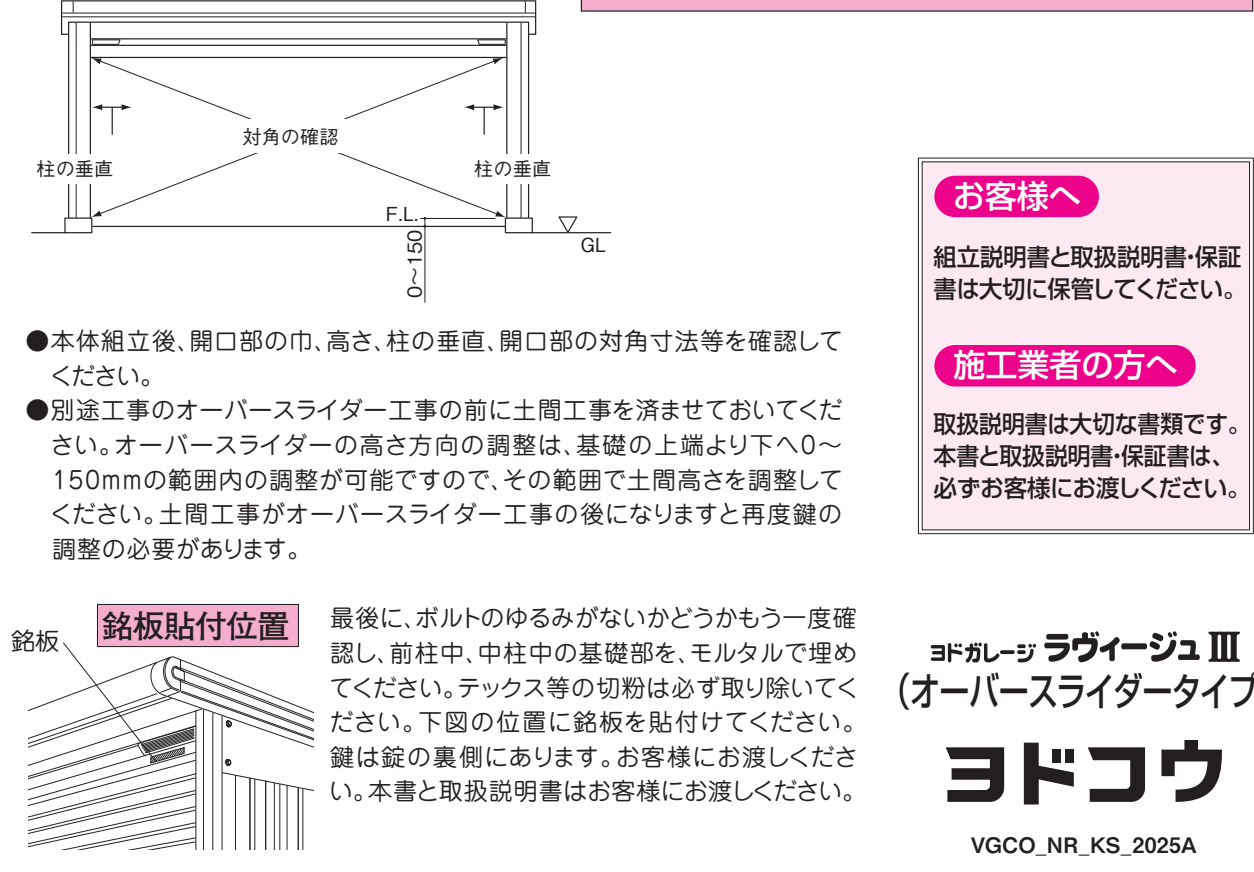
19 桁前補強の取り付け

- ①(桁前補強)を桁前に取り付けます。
- ②(桁前補強)を袖柱に取り付けます。



20 完成

- 注)オーバーライダーは後日、別途工事となりますので、オーバーライダー用の梱包は、開梱せずに、雨に濡れない場所に保管しておいてください。



お客様へ
組立説明書と取扱説明書・保証書は大切に保管してください。

施工業者の方へ

取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書・保証書は、必ずお客様にお渡しください。

ヨドガレージ ラヴィージュⅢ
(オーバーライダータイプ)

ヨドコウ

VGCO_NR_KS_2025A